

社協ワーカーだより

No.23 平成26年8月

地域のみなさんや関係機関の方々に向けて社協ワーカー（職員）の動きや、社協の事業について情報発信するお便りです！！

シニア世代の社会参加活動を促進しています！

福岡市ボランティアセンターでは、シニア世代が地域や施設、介護の現場など様々な場面に参画し、自らの健康増進と介護予防につなげると同時に、生活支援（見守り、ふれあいサロン、配食、外出支援等）の担い手として活躍できる地域づくりを進めています。

① 介護支援ボランティア事業

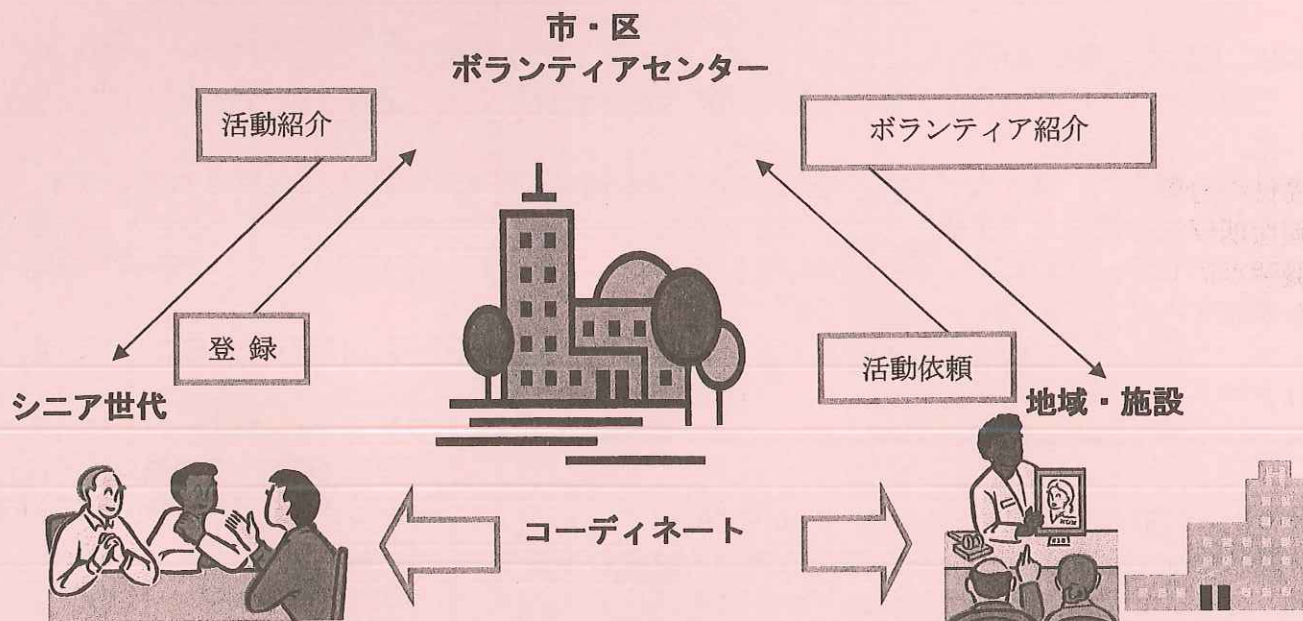
65歳以上の高齢者が介護保険施設で活動することによりポイントを積み立て、換金・寄付する仕組みです。生きがい・健康づくりに役立てていただくとともに、地域やボランティア活動への参画を奨励します。

② シニアアシストふくおか事業

シニア世代に様々な地域活動団体やボランティア団体の情報を提供し、参加を促し、活動団体への支援を行うことでセカンドライフを応援します。

③ シニア地域サポーター養成事業

シニア世代を対象とした講座を開催し、その修了者をふれあいネットワーク、ふれあいサロンなどの身近な地域福祉活動への参加に向けたコーディネートを行います。



充実したシニアライフを
過ごしませんか♪
ご興味のある方は、ぜひお問
い合わせください！

【問い合わせ先】
福岡市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒810-0062 福岡市中央区荒戸 3-3-39 市民福祉プラザ 2階
電話：092-713-0777

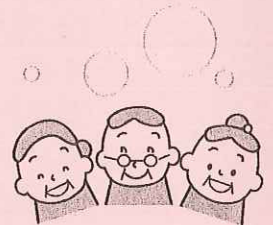
～ボランティア相談がきっかけとなった地域とのつながり～

いきいきセンターから区社協に、「一人暮らしの高齢者女性が話し相手のボランティアを希望している」との相談があり、相談者Aさんのもとを訪問しました。Aさんは「数年前外出先で突然倒れたことで外出が怖くなり、友人との付き合いも自然と減ってしまいました。人と話す機会が少ないため、話し相手に来てほしい。」とのことでした。早速、区社協から傾聴ボランティアグループに相談し、対応してもらったこととなりました。



Aさんは日常生活にも強く不安を感じていたことから、「安心情報キット」や「緊急時連絡カード」、「買い物支援ガイドブック」を渡しました。また、Aさんは民生委員と面識がなかったため、民生委員と傾聴ボランティア、いきいきセンター職員、区社協職員で顔合わせの機会を作りました。顔合わせでは、本人の状況やそれぞれの関わりを皆で共有することで、Aさんに安心感を持ってもらうことができました。ふれあいネットワーク活動は行われていない地域でしたが、それをきっかけに民生委員との関係ができ、日常的な見守りにもつながりました。

現在、Aさんは傾聴ボランティアの訪問を受けながら、また、家の近くのふれあいサロンにも時々参加するようになりました。当初は近所付き合いがほとんどない方でしたが、ボランティア相談をきっかけに少しずつ地域とつながりができて、安心して暮らせる環境が整ってきています。



今月の 気（KEY）になる！！ キーワード

「プラットフォーム（プラットホーム）」



本来、「駅で、乗降に便利のように、線路に沿って築かれた構造物」という意味ですが、現在、この言葉は、いろいろな分野で“稼働するための環境”という意味で使われるようになりました。

福祉の分野でも、様々な「共働」を実践する際の運営手法の一つとして注目されています。強固な関係性を持った“組織”を作るのとは異なり、共通のミッション（使命）のもと、多様な機関が同じテーブルに乗っかり、効率的にミッションを遂行できる“ゆるやかな連携”の関係を構築するスタイルです。

今後、このようなプラットフォームシステムを用いた課題解決の取組みが増えることが予想されます。

東区社会福祉協議会では、ホームページを開設しています。東区社協が主催するイベントや講座の案内・校区の事業や情報・ボランティア募集などを掲載しています。



〈QRコード〉

職員によるブログも随時更新しています。
是非『福岡市東区社協』
にアクセスしてみてください。

お問合せ：東区社会福祉協議会
電話 6 4 3 - 8 9 2 2

ファミリー・サポート・センター
「提供（両方）会員養成講習会」を
開催します。ぜひご参加ください!!

【日時】

9/17(水) 10:00～15:00

9/26(金) 10:00～14:30

9/29(月) 10:00～14:30

【場所】

城南市民センター

【問合せ・申込み先】

ファミリー・サポート・センター本部

(☎736-1116)

